



洋書輸入協会会報

Vol. 30 No. 12 (通巻355号) 1996年12月

理事会報告

11月28日(木)

㈠収支報告

11月22日(金)開催の総務委員会で審議の10月分収支について総務委員長の報告を承認した。

㈡委員会報告

1. 総務委員会

イ. 来年度の定時総会の開催日を5月16日若しくは23日とすることで調整したい。

ロ. 先の理事会で承認された協会事務所に避難器具を取り付ける件は早速実施され本日(28日)午前中消防署の検査が済み使用可能となった。

2. 広報・渉外委員会

イ. 12月6日公正取引委員会から講師を招き丸善第2ビルで勉強会を開催する。

ロ. PWに対する第2回目の抗議文を11月21日付状した。

ハ. 11月26日(火)特別委員会を開催した。

4. 事業委員会

東京国際ブックフェア1997の「洋書バーゲンコーナー」への参加社募集の説明書及び申込書を11月29日付全会員宛発送する。

海外ニュース

来年度予算を脅かす付加価値税のおそれ

英国の書店および出版社は、書籍にかかる付加価値税免除制度を廃止しようとする欧州委員会のあらゆる要求に対して反対してゆくことを確認した。これは現行の制度を見直して、EU諸国の付加価値税を統一しようという、同委員会の新しい計画が発表されたことを受けてなされたものである。

「我々は如何なる組織からであろうと、(付加価値税を新たに課するという)一種の脅しには反対する」と出版協会の理事 Clive Bradley 氏は語った。「どんなに低い税率であっても、この免除制度を止めるわけにはゆかない。これまでの経験から、それらがやがては高い税率へと変えられてゆくのが判っているのだから」

大多数の意見が、11月26日に決定する本年度予算で、書籍が付加価値税を免除されるとしているが、EU諸国間での税率統一という欧州委員会の要求は、英国が書籍、新聞、子供用衣料品などに与えている免税措置に対して、抵抗できないプレッシャーを与えようとしている。

欧州委員会の提案の最も重要な点は、メンバー国間での輸出関税が無税という現行システムを廃止することで、このシステムでは輸入の場合は輸入国の税法に従っている。欧州委員会はこのシステムを、原産国での課税システムにして、輸出国がその国の税率の付加価値税を課して輸出するように変えたい意向でいる。これは、純粋に

目次

理事会報告	1	英語を楽しむきっかけ	3	出版文化史逍遙一西から東一(12)	6
海外ニュース	1	文化厚生委員会だより	4	1997年度主要国際書籍展一覧	7
総代理店のご案内	2	モスクワにあったグーテンベルグ		広告	8
お知らせ	2	聖書	5		

単一の市場を確立しようとする動きの現れと言える。

これが実現すれば、税率の差がある各国（リストを参照）の貿易業者の間の差異が、より鮮明になってしまい、自由競争を妨げるというのが欧州委員会の懸念である。従って、委員会はすべてのメンバー国に、書籍などの社会的に重要な商品には5%以上の割引率を、その他の物品には15%以上を課税するよう望んでいる。

英国政府は、この要求は実現しないとの見方を示しているが、貿易関係の団体は警戒の姿勢をとっている。「議会はこの要求を、提案という程度のもつと見なしているようだが、我々は油断できないと考えている」と書店協会の Tim Godfray 氏は言う。「税法を変えるには満場一致が条件であることを理由に、これらの動きが実現しないことを政府は強く主張しているが、すべては政府間協議の結果にかかっており、その参加国の大多数に圧力が加えられている」

大蔵省作成の予算では、貿易を阻害するような動きは見られない。

「Clarke 大蔵大臣が書籍への付加価値税の変更について触れずに、そのスピーチを終えるまで、些か不安ではあるが、吉兆のきざしはある」と Mr. Godfray は語った。

総代理店のご案内

ユナイテッド・パブリッシャーズ・サービス社

Tel. (03)3291-4541

Fax. (03)3293-3484

Keele University Press (U.K.) 総代理店

University of Exeter Press (U.K.) 総代理店

Four Court Press (Ireland) 総代理店

International Thomson Business Press (U.K.)

指定代理店

Architectural Association Publications Ltd.(U.K.)

ストックリスト

Reaktion Books Ltd. (U.K.) スtockリスト

Univrsity of Arizona Press (U.S.A.) スtockリスト

小社はこのたび上記出版社の総代理店及びストックリスト業務を開始いたしましたのでお知らせいたします。今後のご注文、お問い合わせには是非小社を御利用ください。

しかしながら、統一事業税または貿易に関する他の税率のほうに変更が加えられる様子である。

【THE BOOKSELLER/NOV.15, 1996より】

「少なくとも付加価値税を書籍に適用しなかった」と

EU 各国の書籍の付加価値 (orVAT) 税率

国 名	税率	国 名	税率
オーストリア	10%	アイルランド	0%
ベルギー	6%	イタリー	4%
デンマーク	25%	ルクセンブルク	3%
フィンランド	12%	オランダ	6%
フランス	5.5%	ポルトガル	5%
ドイツ	7%	スペイン	4%
ギリシャ	4%	スウェーデン	25%
		イギリス	0%

英国書店協会会長 Mr. Willie Anderson は、クラーク大蔵大臣の予算表明後に語った。「民間各社には依然として大きな負担であり、雇用および法人税の減税は期待したほどではなかった」——以下略

【THE BOOKSELLER/NOV.29, 1996＝続報】

お知らせ

次の通り移転通知がありましたのでお知らせします。

幸洋商事株式会社

新住所：〒103 東京都中央区日本橋室町4-2-14

三嶺ビル5階

電話、Fax 共従来通り

Tel (03) 3243-0091

Fax (03) 3279-1792

英語を楽しむきっかけ

一隣の「おっさん」と英字新聞

島 岡 丘

私が英語の道に進んだのは全く偶然だった。小学生の頃、私が住んでいた家は大阪の天王寺区にあったが、隣のうちは貿易商で、その子どもと友だちだったので、休みの日はいつも遊びに行った。その貿易商のおっさん（大阪方言、「おじさん」のこと）はよく英字新聞を開いて格好良く読んでいたので、ある日、声を出して読んでとせがんだところ、すばらしくいい調子で英字新聞の1記事を音読してくれた。小学生の私にはもちろん何のことなのかわかるはずがなかった。しかし、いつの日かそのおっさんのように英語をすらすら読めるようになりたいと心に決めた。

その時は戦時中で、B29による爆撃が激しくなり、堂島にあった父の会社は空中投下された焼夷弾ですっかり焼かれてしまい、家族がばらばらになってしまった。

私は母の郷里である北海道の旭川に住む親戚のうちに厄介になることになった。それは小学6年の時であるが、それ以来母子家庭になった。

中学に入学したのは終戦の年であった。学校では、戦後社会の英語ブームとは関わり無く、1人の先生を除いて、依然として訳読方式の学習が行われ、発音や聞き取りの重要性についての意識はほとんどなく、クラスの生徒はたまたま音読を指名されて嫌々ながら活字を拾い読みするという有り様だった。さらに悪いことに、英語教師が全国的に不足し、私の通っていた中学も休講が続いた。そのせいか、中学2年の終わり頃は英語のテキストを読むことすらできずクラス全員が文盲になっていた。

学校以外で英語に接することができたのは、ラジオ放送とアメリカの進駐軍しかなかった。しかし、当時のラジオは真空管式でよく真空管の球が切れた。その球が切れると放送が聞こえなくなる。わが家も貧しかったので、ラジオはしばらく壊れたまま放置されていた。近くの修理屋に出したところ、半年以上も持っていかれたままになっていた。しびれを切らして請求したところ、その修理屋は全く別の安物のラジオを代わりに持ってきた。音質も悪くダイヤルもなかなかピントが合わなかった。それでもラジオの音声がかぎりなりにも聞けるようになったので内心喜んだ。その時、たまたま聞こえてきたのがNHK ラジオ英会話であった。番組を担当された平川唯

一先生の放送は

Good evening, everybody. Good evening.

からはじまった。生き生きした臨場感あふれる挨拶で、半世紀後の今でもその口調は完全に思い出すことができる。また、番組の内容が日本の家族内の話題で身近に感じたせいか、その後2年間は必ずといっていいほどラジオの前で耳をそばたてて聞いたものだ。ラジオの調子が悪くて聞けないときは、近所の家へ行って聞かせてもらったりした。私がラジオ英会話を聞き続けて本当によかったと思うのは、英語のリズムが自然と身についたことである。少なくとも、Good evening. の挨拶を言うときの調子は弱強弱のリズムと、子音と母音のつながりで次のようにいう習慣がついた。

$\begin{array}{ccc} \times & \text{I} & \times \\ \text{Good} & \text{evening.} & \end{array}$
グ ディーヴネィング

この弱強弱リズム型は、I did it. I like it. などを言うときにも用いられることとも発見した。現在の要語を使えば、cognitive map または shema が出来上がったことになる。知人の精神分析医（ロス在住）から今年の夏に聞いたことだが、新しい言語習慣を身につけるには30回繰り返すことだそう。そうすれば学習者に定着すると言う。私はかつて隣の貿易商のおっさんのように英語をすらすら言えるようになりたい一心で何度となく繰り返し続けた結果、教科書を気持ちよく音読できるまで予習するのが英語の勉強の定石であると信じるようになった。

私自身が隣のおっさんのように英字新聞を読んで楽しめるようになったのは、偶然であった。何年かぶりで兄が家族に加わり、英字新聞を自宅で取るようになったので、私も兄が読んだ後、社説だけは読むことにした。始めは、ノートに未知の単語を書き出すだけで1頁以上にもなった。いつかは隣のおっさんのように、という熱意のおかげで、継続する気持ちに揺るぎはなかった。1ヵ月の終わり頃にはわからない単語はほとんどなく、英語の入賞した小説を読んだりした。

何事にもきっかけが大事な気がする。私の場合は、偶然にも平川先生のラジオ英会話を聞いたおかげで英語の文盲から救われたが、そのきっかけを持たなかった級友

はとても気の毒な気がする。前回も述べたように、日本語を母語としているのだから、母語を工夫した近似カナ表記のようなものも有力なきっかけになるのではないかなと思う（ロシアでも、IPA の代わりに母語を工夫して新たな発音記号を用いているとのことだ）。

平川先生になんらかの恩返しをしたいと思っていたところ、私自身が「ラジオ英会話」を担当することになった。私は平川先生から学んだことをベースに英語をただ単に手段として用いるのではなく、広い心を育て人生の豊かさと喜びを得る糧にするよう試みた。

ただ、勤務校の役職義務の事情などがあって、番組担当は1年限りであったが多少なりとも自分が得たものを世に還元できたのではないかなと思う。私の教え子たちも成長し、生き甲斐をもって英語を教えるようになっていく。教職にある人は生徒にいろいろなよいきっかけを与えることができる。私も高校時代に英語の先生から Twice-told Tales を読むようにといて本をいただいたことがある。よいきっかけは人生の道を開くことにな

る。大学では福原麟太郎先生から卒業論文の個人指導を受けたが、これらがきっかけとなりフルブライトとブリティッシュカウンシルの基金でアメリカとイギリスに留学をすることができた。

ある英語の先生方の集まりで、高校生に英字新聞特に社説を読ませるのがよい旨を述べたところ、日本語の社説もあまり読まないのに、英語の社説がわかるわけがないとお叱りを受けた。しかし英語教師の役割は英語そのものに関してだけではない。英語を通して入ってくる情報を適確に識別する英語力と識見を培うよう指導することも大切であろう。

現在はコミュニケーションがインターネットなどを通じて世界的な広がりを持つ時代であり、英語が国際間通用語としてますます重要になっている。しかし、伝達は人と人との間にあってこそ成立するのであり、お互いが「家庭のような温かさ」をもって交流することこそ大切だと思っている。

（筑波大学名誉教授／茨城キリスト教大学教授）

文化厚生委員会だより

フォティラブ（JBIA テニス同好会）報告

新緑と温泉を愛でながらの五月の箱根での延べ20人参加の第2回目について、今年3回目の合宿を怪我人をだす事もなく無事終了の報告を致します。今回は「当日の天気予報は雨」という事でしたが聴く耳を持たないけれど神のお加護と天の恵みを信じる前日泊まりの善男善女が11人も参集し、手に手に持ち寄った和洋の般若湯と食い物、公私に互る楽しい会話のテンコ盛りで前夜祭から燃え上がりました。当日は、お告げ通り、勿論、雨が降ることもなく、生命の謳歌をさせて頂きました。ジnkスの初見えは、大阪から遠路参加の阪根さんと、予期せぬ古典派の加藤さん（卸部部長）の丸善“青年”二人組と、本当に若い医学書院 MYW の橋本嬢と、ロングマンの余嶋君の4人でした。他に、久々に元気な医学書院の西沢さん、マイブックスサービスの村上さん、丸善から大ベテランの高橋さんと美女3人、マクミランの出口さん、医学書院 MYW の平野さん他3人、三省堂の小橋さん、東光堂の柴田さん、タトルの平敷さん、洋販の鈴木・平木さんと可愛い女性2人、等々の総勢延べ30人が夏を惜しんでコート狭しと弾け回ったものでした。

（ロングマンジャパン 川原：記）

第4回目は、10月19日に昨年開催し好評を得た野田市郊外のロイヤル SC テニスクラブにて行われました。HBJ の皆川さん、日貿の小野さんと小出さん、友隣社の上原さん、洋販の中村さん、金子さん、田坂さん、小島さん、OUP の東条さん（当クラブのメンバー）と池内さんなど新しい顔、なつかしい顔も含めて25名で一日中楽しみました。慣例となった野外のバーベキューの際は、時ならぬ雷雨に見舞われましたが、天のいたずらもこの時だけで済みました。

東条さんの計らいで、クラブ所属のレスンプログが、初心者教室も開いて下さったので、基本からちゃんと学び直した人もいました。あとはベテランぞろいの面々、いろいろなドローを組んで、勝った、負けたとはしゃぎっぱなしでした。ただ、食事の際はビールを飲むほどに、勝った方は「あそこを直せ」と教える特権を得て、ペースが上がりっぱなしです。

テニスを始めてみようと思われていらっしゃる会員の皆様、次回よりは是非ご参加下さい。

（東光堂書店 柴田：記）

モスクワにあったゲーテンベルグ聖書

今からちょうど3年前の1993年12月30日午後、漫然とテレビを見ていた。それはフジテレビのニュースであったが、いきなり美しく彩飾されたラテン語聖書が画面にあらわれた。ライブチヒの図書館が長い間所蔵していたが、1945年に行方不明となっていた『ゲーテンベルグ聖書』がロシアで見つかったという内容であった。

カリフォルニアの石油王の夫人、エステルドヒニーが所蔵していた『ゲーテンベルグ聖書』を、1987年のクリスティの競売で丸善が入手した関係で、私は『ゲーテンベルグ聖書』に関する研究をつづけていた。(1996年春、慶応義塾大学にお買い上げいただいた。) 従って、この日放映されたニュースは私にとって最大級の関心事であった。しかし私の関心を嘲笑うがごとく、ニュースは瞬きする間もなく終わってしまった。その夜は一晩中あちこちのチャンネルを回してほとんどのニュース番組をチェックしたが、ほかのチャンネルではついに見ることができなかった。大晦日は早く起きて一般紙、スポーツ紙、英文紙など入手できる新聞を全部求めて『ゲーテンベルグ聖書』に関する記事を探したが、どの新聞にも一行も載っていなかった。

昨日テレビで見たのは夢か幻だったのだろうか、と私の欲求は完全に消化不良状態になってしまった。正月休みが明けのを待ちかねて、ロンドン、ニューヨーク及びフランクフルトの友人に“失われたライブチヒの『ゲーテンベルグ聖書』”に関する記事を最近の新聞から探して、そのコピーを送ってくれるよう依頼した。その結果、イギリスとアメリカの新聞には日本と同様にこれに関する記事はまったく載っていないことが判明した。しかし、ドイツはさすがにゲーテンベルグの生まれた国である。Frankfurter Allgemeine Zeitung(Dec.16) 及びBörsenblatt (Jan.4/14) に載っていることがわかり、その記事入手することができた。

それらの記事によると、1993年10月27日にドイツの専門家達がはじめてロシア国立図書館の金庫室へ入る許可を得たとのことである。そして、それこそ多くの宝の山を発見したのであった。その中で特に貴重なものは、57点の写本とインキュナブラ(15世紀の印刷物)である。それらは蔵書印、蔵書票、古い時代の書き込み、装丁の特徴などからドレスデンのザクセン国立図書館とライブ

チヒの図書館〔ドイチェ・ビューヘライ〕が所蔵していたもので、1945年以来行方不明となっていたものと確認された。その中でも異彩を放つものは、羊皮紙に印刷された2巻ものの『ゲーテンベルグ聖書』であった。

活版印刷術によって制作された最初の書物として知られる『ゲーテンベルグ聖書』は、1455年頃マイantzにてヨハネス、ゲーデンベルグによって160~180部印刷された。その内皮紙に印刷されたもの12部、手漉きの紙に印刷されたもの36部、計48部が現存しているとされている。

ロシアのセント・ペテルスブルグ帝国図書館は、1858年に『ゲーテンベルグ聖書』を入手し、所蔵していた。しかし革命によって生まれたソヴィエト政府の命によりロンドンの古書籍商マグス・ブラザースへ売られた。現在ではスイスのボドマー図書館が所蔵している。従ってロシアには『ゲーテンベルグ聖書』は一冊もないはずである。

1993年10月、ドイツの専門家達はロシア国立図書館の金庫室にある『ゲーテンベルグ聖書』は1945年ライブチヒの図書館〔ドイチェ・ビューヘライ〕から消失したものと断定した。このドイツ側への公開は、当時のゴルバチョフ大統領によって始まったグラスノスチによるものであり、ロシア政府の厚意であった。しかし当然ながらドイツ政府はロシア政府に対し、これらの稀覯書の返還を要求することを決定した。ドイツの考古学者シュリーマンが発掘したトロイの秘宝が第2次対戦後ベルリンから忽然となくなった。秘宝の中でも特に価値の高い「ブリアモスの宝」が本年4月、モスクワのプーシキン美術館で公開された。しかし宝の帰属をめぐるロシアとドイツの話し合いは進んでいない。第2次大戦中の略奪は、ロシア側だけが行ったのではない。ソ連に侵攻したドイツ軍も徹底的な破壊と略奪を行った。

ロシア側にあるドイツから略奪したものの、逆にドイツ側にあるロシアから略奪したものの相互の返還交渉は精力的に行われている。しかしテレビ番組の中でドイツの学者が「これらの美術品の一部でも返ってくるのは2020年頃になるのではないか」と悲しそうに話していたのがとても印象的だった。

〔富田修 二ノ丸善・美術古書部〕

英語辞書の歴史—ジョンソン・ウェブスター・OED—(3)

丸善・本の図書館 鈴木 陽 二

◆ジョンソン辞書の特徴(1)

まずジョンソン辞書のデータを挙げておくことにしよう。辞書の正式タイトルは“A DICTIONARY OF THE ENGLISH LANGUAGE: IN WHICH The WORDS are deduced from their ORIGINALS, AND ILLUSTRATED in their DIFFERENT SIGNIFICATIONS BY EXAMPLES from the best WRITERS” 2 VOLS. であり、収録語彙（見出し語）約4万、引用例文約11万4,000～11万6,000、フォリオ版約2,500ページで1775年の刊行であった。

ジョンソンは辞書の制作に当たってベイリーの“DICTIONARIUM BRITANICUM”第2版を下敷に使用した。この辞書は以前説明したように、1733年に刊行し、見出し語60,000、挿絵500を収録した920ページの大きな辞書であって、それまでに編纂された英語辞書の中では最良のものであった。ジョンソンが実際にどういう方法で仕事を進めていったのかいくつかの説があって判然としていないようであるが、下敷きにしたいとしても、その大部分を引写しにしたわけでは決してなく、“DICTIONARIUM”から3分の2ほどの語を捨てたと見られている（永島大典『英米の辞書』）。それから考えると、2万語をこの辞書から借用し、ほぼ同数の2万語をジョンソンが新たに付け加えたという勘定になる。

この取捨選択の内容は、すなわちジョンソン辞書の特徴を示しているといえることができるが、例えば、ギリシャ語やラテン語に由来する難解語、見出し語になっている専門用語としての熟語、また百科事典的な語などを対象に、大幅に削減している。そして、日常使用する平易な派生語や合成語を採用している。

1702年、ジョン・カージーが編纂した『新英語辞典』はそれまでの難解語辞書と決別したものであったことを前に説明したが、それにもかかわらず、その後出版された辞書は、この“DICTIONARIUM”も含めてやはり難解語を多く含むもので、大きな流れとしては難解語辞書の系統に属するものであった。そういう点から見て、ジョンソンの辞書が本当の意味で難解語辞書から完全離脱を果たした、といえることができるだろう。

この辞書の特徴はもちろんこれに限らず、その後の辞書編纂の規範となるいろいろな手法が新たに考案・使用されている。その主だったものを紹介しておきたい。

まず大きな特徴は、日常語としての冠詞、接続詞、前置詞、動詞などの語義と用法を詳細に記載したことであり、そこには、今日われわれが使用している語学辞書の先駆的な姿をみることができる。例えば“TAKE”という動詞を見ると、成句を含めて他動詞で113、自動詞で21の語義が収録されている。この動詞にそれまでの辞書で最も多い語義が与えられたのはマーチンの辞書（1749）であったが、それでも17にすぎなかった。言語学辞書としてこういう複雑でやっかいな用法をもつ単語に多くの記述を費やすのは、今日では当たり前のことであるが、それだけにジョンソンの辞書編集に対する思想が実に斬新なものであったといえることができるだろう。

また、語法の正誤についての判断を記述してあるのも特徴である。イギリスでは英語アカデミーによる辞書が生まれなかったが、ジョンソンの辞書が英語の適切な用法を規定したのは、フランスやイタリアにおけるアカデミー辞書と同等の役割を果たすものとして、広く歓迎されたのであった。

冒頭触れたように、11万4,000～11万6,000という豊富な引用例文を収録したことも、この辞書の大きな特徴であった。引用例文を辞書に掲載したのはジョンソンが最初ではなく、すでに16世紀の辞書に見られる（例えばジョン・フロリオ『言葉の世界』1598はイタリアの作家の引用文を採用）。しかし、それは辞書編纂における必須用件ではなかった、といえるだろう。ジョンソンの場合、彼の辞書編纂の基本的手法は帰納法的といわれるもので、数多くの用例を集めて語義を決めていく方法であった。そういう意味では引用例文は彼の辞書の根幹要素をなすもので、膨大な作品に目を通して引用文を選定したのは彼にとって最も重視した編集作業であったと思う。彼の引用文の選定は、ポーブの選定を参考にしたことを以前記したが、勿論対象とした作家と文献はそれに止まるものではなかった。〔参照：永島大典『ジョンソンの「英語辞典」その歴史的意義』〕

1997 年度主要國際書籍展一覽

書 籍 展 名	開催期日	開催地	連絡先 FAX
TOKYO INTERNATIONAL BOOK FAIR	1/23- 1/26	Tokyo	3 3345 7929
MILIA	2/ 9- 2/12	Cannes	3 5317 5420
SALON DU LIVER, PARIS	3/12- 3/17	Paris	00 331 49532788
LONDON INTERNATIONAL BOOK FAIR	3/16- 3/18	London	0181 910 7930
LEIPZIG BOOK FAIR	3/20- 3/23	Leipzig	01474 824091
BOLOGNA CHILDREN'S BOOK FAIR	4/10- 4/13	Bologna	00 39 51 282332
INTERNATIONAL BOOK FESTIVAL BUDAPEST	4/25- 4/27	Budapest	00 361 118 4581
WARSAW INTERNATIONAL BOOK FAIR	5/15- 5/19	Warsaw	02 617 8641
TURIN BOOK FAIR	5/未定-5/未定	Turin	0039 11433 1056
SEOUL BOOK FAIR	5/15- 5/19	Seoul	008227385414
BOOK EXPO AMERICA (ABA)	5/31- 6/ 2	Chicago	001 203 840 9614
SPECTAL LIBRARIES ASSOCIATION EXHIBIT	6/ 8- 6/11	Seattle	001 202 265 9317
AMERICAN LIBRARY ASSOCIATION ANNUAL CONFERENCE EXHIBIT	6/26- 7/ 3	San Francisco	001 312 440 9374
AUSTRALIAN BOOK FAIR	7/10- 7/13	Sydney	00 61 2 281 1073
IFLA	8/31- 9/ 5	Copenhagen	0031 7038 34827
INTERNATIONAL BOOK FAIR, BEIJING	9/ 2- 9/ 8	Beijing	0086 10 5063101
MOSCOW INTERNATIONAL BOOK FAIR	9/ 2- 9/ 7	Moscow	007 095 973 2132
LIBER/INTERNATIONAL BOOK FAIR	10/ 9-10/11	Madrid	00 341 3454351
FRANKFURT BOOK FAIR	10/15-10/20	Frankfurt	0049 69 2102227
CIROBE '96 (Chicago Remainder Fair)	11/ 7-11/ 9	Chicago	001 312 955 2967

BBC VIDEO LIBRARY

日本語版発売開始

「ストーリー・オブ・イングリッシュ」「不確実性の時代」など、
BBCならではの大型ドキュメンタリーシリーズや多分野にわたる教育・教養
番組を、これまでオリジナル英語版でお届けしてまいりました

BBC VIDEO LIBRARYからいよいよ

日本語版の登場です。



エリザベス二世

砂漠と川の生態系

不確実性の時代

- ▶ アキノとブット
- ▶ アフリカの空の下で
- ▶ アルプス氷河のアイスマン
- ▶ ウォーターゲート事件の真実
- ▶ エリザベス二世
- ▶ 思い出と夢—マサイの村から—
- ▶ 検証：ヒトラーとその時代—50年後の対話—
- ▶ 言葉のルーツを求めて
- ▶ 砂漠と川の生態系
- ▶ 障害児の教育
- ▶ ストーリー・オブ・イングリッシュ
- ▶ 蛮行とアメリカ・インディアン
- ▶ フォーリン・フィールド
- ▶ 不確実性の時代
- ▶ ライフセンス

◎お問い合わせは下記へ

GMS

BBC(英国放送協会)ワールドワイド社 日本総代理店

株式
会社

グローバルメディア・システムズ

〒105 東京都港区浜松町2丁目5番5号 松井ビル

(営業本部) TEL.03-3433-4375

FAX.03-3437-1778

1996年12月 通巻第355号 洋書輸入協会
〒108 東京都中央区日本橋1-21-4 千代田会館5階20号室

編集者 神田 俊二

☎(03) 3271-6901 FAX. (03) 3271-6920

印刷所—藤本綜合印刷株式会社